

各 位
2015年6月2日
原爆文学研究会事務局
〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1
福岡大学人文学部 中野和典研究室内
tel:092-871-6631 (代表) /e-mail:nakanok@fukuoka-u. ac. jp

第48回 原爆文学研究会のご案内

時下益々ご清栄のことと存じます。第48回原爆文学研究会を下記の要領で開催いたします。皆さまには、ご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせの上お集まりくださいますようお願い申し上げます。

今回は通常の研究発表に加えて「戦後70年」連続ワークショップも行います。会場・資料の準備の都合もありますので、**参加をご希望の方は2015年7月25日(土)までに「①1日目研究会」「②懇親会」「③2日目研究会」のそれぞれについて参加／不参加を明記して事務局にeメールかお電話でお申し込みください。**

記

- 日時：2015年8月1日(土)・2日(日)
- 会場：サテライトキャンパスひろしま 504中講義室
(広島市中区大手町1丁目5-3 広島県民文化センター5階 TEL082-258-3131)
- プログラム
【1日目】8月1日(土) 14:00～18:10
13:30 開場
14:00 開会・自己紹介
14:20 研究発表1 詩人御庄博実と50年代詩運動 宇野田 尚哉
15:50 (休憩)
16:10 研究発表2 山代巴「或るとむらい」論 川口 隆行
17:40 事務局から
18:00 1日目閉会
18:30 懇親会 広島 酒呑童子(広島県広島市中区大手町1-4-25 TEL082-247-9300)

- 【2日目】8月2日(日) 10:00～16:40
「戦後70年」連続ワークショップⅦ 原爆文学「古典」再読3—大田洋子『屍の街』
9:30 開場
10:00 司会者から—『屍の街』はどのように読まれて来たか? 中野 和典
10:20 発題1 長野 秀樹
10:40 発題2 柳瀬 善治
11:00 全体討論
12:00 ワークショップⅦ終了・休憩

- 「戦後70年」連続ワークショップⅧ 広島から問う、「原爆文学」と「戦後70年」
13:00 司会者から 山本 昭宏
13:10 報告1 「原爆」をめぐる想像力の枠組み：朝鮮戦争とベトナム戦争を手がかりに 高 榮蘭
13:40 報告2 被爆体験記における朝鮮人被爆者の表象：1970年代まで 黒川 伊織
14:10 報告3 「原爆文学」の1970年代 成田 龍一
14:40 コメント 山本 昭宏
15:00 全体討論
16:30 ワークショップⅧ終了・事務局から
16:40 2日目閉会

※2日目の「戦後70年」連続ワークショップは、科学研究費(基盤B)「核・原爆と表象／文学に関する総合的研究」(研究課題番号：26284038 代表：川口隆行)との共催事業になります。

【趣意文】「戦後70年」連続ワークショップⅦ 原爆文学「古典」再読3—大田洋子『屍の街』
大田洋子『屍の街』は最早期に書かれた「原爆文学」の一つである。それだけにこのテキストとその研究文献を読みなおすことによって「戦後70年」の間に貫かれたことと貫かれなかったことの両方を浮かび上がらせることができるのではないだろうか。このワークショップでは同日の午後に開催するもう一つのワークショップのテーマ「広島から問う、「原爆文学」と「戦後70年」」も念頭に置きながら研究分野の枠を越えて『屍の街』について語り合いたい。まず司会者(中野和典)が『屍の街』の受容史を整理し、2人の発題者(長野秀樹・柳瀬善治)がそれぞれの視点から問題提起を行った上で、会場全体で討論を行う。

【趣意文】「戦後70年」連続ワークショップⅧ 広島から問う、「原爆文学」と「戦後70年」
今回のワークショップでは、一連の「戦後70年」ワークショップの締めくくりとして、「戦後」という枠組み自体を問いながら、「原爆文学」をめぐるこれまでの議論を再考したい。「原爆文学」という問題領域は、「戦争被害」や「被爆者／ヒバクシャ」、あるいは「戦後文学」など、「原爆文学」のテキストの外にある様ざまな領域と密接な関係をもってきた。本ワークショップでは、それらの関係を問いながら、「戦後70年」の間に原爆に関して何が描かれ(注目され)、何が描かれなかった(注目されなかった)のかを浮き彫りにする。

まず、高榮蘭は、空爆に焦点を当てる。朝鮮戦争の際に北朝鮮側に対して行われた空爆とベトナム戦争時の空爆に注目し、それが日本のメディアや小説でどのように描かれたのかを明らかにする。1950年代から60年代までの原爆の語りを、空爆という視点から読み直し、東アジアという広がりの中に置き直す報告になる。

次に、黒川伊織は、被爆体験記に描かれた「朝鮮人被爆者」の姿を検討することで「被爆者」と「朝鮮人被爆者」との関係を考察する。「被爆者」という枠組みのなかに見え隠れするマイノリティの問題に光を当てる作業は、記録文学を含む「原爆文学」が何を描き、何を描いてこなかったのかという問いにも繋がるだろう。

最後に成田龍一は、1970年代の「原爆文学」という枠組みに焦点を当てる。「原爆文学」が、「戦後文学」や「戦争文学」をどのように参照したのか考察しつつ、70年代の「原爆文学」の様相を探る。

戦後70年の射程で「原爆文学」を再考し、これからの議論を拓く場になれば幸いである。

宿泊のご案内

宿泊施設については当日の混雑が予測されるため、広島駅付近のホテル合計50部屋を仮予約しております。ご予約を希望される方は、①～⑥の中からご希望内容の番号と朝食の有無をメールで松永京子までお知らせください。受付締切はホテルによって異なっておりますので、ご注意ください。なお、部屋がなくなり次第、予約の受付を終了させていただきますので、ご了承いただけますよう、よろしくようお願い申し上げます。

- ①ヴィアイン広島 シングル 禁煙 ￥7,200 (20部屋) *朝食付き+￥ 500 受付締切：6/28
- ②広島インテリジェントホテル本館 シングル 禁煙 ￥7,500 (15部屋) *朝食付き+￥ 600 受付締切：7/24
- ③広島グランドインテリジェント バジェットシングル 禁煙 ￥6,600 (2部屋) *朝食付き+￥1,400 受付締切：7/28
- ④広島グランドインテリジェント バジェットシングル 喫煙 ￥6,600 (3部屋) *朝食付き+￥1,400 受付締切：7/28
- ⑤広島グランドインテリジェント シングル 禁煙 ￥6,900 (5部屋) *朝食付き+￥1,400 受付締切：7/28
- ⑥広島グランドインテリジェント シングル 喫煙 ￥6,900 (5部屋) *朝食付き+￥1,400 受付締切：7/28

申込み先詳細

○研究会・懇親会の申込み先

福岡大学人文学部日本語日本文学科 中野和典
eメール nakanok ● fukuoka-u. ac. jp (※「●」を「@」に替えて送信してください)
電 話 092-871-6631
※「①1日目研究会」「②懇親会」「③2日目研究会」それぞれの参加／不参加をお知らせください。

○宿泊の申込み先

神戸市外国語大学英米学科 松永京子
eメール kyokomatsunaga ● mac. com (※「●」を「@」に替えて送信してください)
※宿泊先によって料金や受付締切が異なりますのでご注意ください。

会場のご案内

サテライトキャンパスひろしま（広島県民文化センター5階）



(バス・電車：「紙屋町」「紙屋町西」で下車)

- 広島駅から・・・・・・・・バス、電車で約10分
- 広島バスセンターから・・・・・・・・徒歩約3分
- 広島空港から・・・・・・・・バスで約60分（エアポートリムジンバス）
- 広島港から・・・・・・・・バス、電車で約30分
- アストラムライン本通駅から・・・・・・・・徒歩約2分